

ふくしままちなか散歩、ひなを愛でる旅

2月から3月にかけて行われる「ひなめぐり」。

商店の店先にお雛様を飾り、商店街のにぎわいを演出するだけでなく、訪れた人の心を癒してくれること間違いなしです！

このような「ひなめぐり」の情報を集めたチラシを、各主催者の協力を得て作成しました。（近日、2地区追加予定）

各地では、さまざまな趣向を凝らし、おもてなしの心で皆様をお迎えします。ぜひ各地のひな巡りにお出かけください！



須賀川市のひな祭り



白河市のちらし



喜多方市のちらし



会津若松市のひな祭り



表



相馬市のちらし



桑折町のひな祭り



裏



飯野町のつるし雛



二本松市のひな祭り

まちづくり推進課のホームページでチラシがご覧になれます。

<http://www.pref.fukushima.jp/machi/hinaHp/hinamap.htm>

耳寄り情報

相馬市 スタンプラリーやフォトコンテスト、お雛様メニューも楽しめます。

桑折町 「俳句・川柳・短歌コンテスト」、「坪庭・店先博物館めぐり」が同時開催中です。

福島市飯野町 かわいい雛人形のお菓子があります。

須賀川市 須賀川市立博物館では「ひな人形展」を開催中です。

白河市 雛人形のほかに、つるし雛なども飾られています。

会津若松市 アネッサクラブでは期間中、「ひなの甘酒」を1本600円で販売！

新しい産業を覗いてみよう！

～地域づくり支援から農商工連携支援へ～

●道の駅「よつくら港」オープン



- 県内20番目の「道の駅」
- 平成21年12月26日に、いわき市の国道6号沿線にオープン。
- 「NPO法人よつくらぶ」が管理運営

民設民営で全国に先駆けた「道の駅」を目指し、奮闘中！



「道の駅」のオープニングイベントには「NPO法人よつくらぶ」と以前から交流のあった天栄村、川内村などの団体が四倉に集結！

地元で採れた農産物などを持ち寄り、特設ブースで販売。どこのブースも大勢の人でにぎわっていました。普段の何気ない交流がこのようなにぎわいを生み出したのでしょうか。

このように、農産物の物販など、「道の駅」を舞台に、いま注目を浴びている“6次産業・農商工連携”が実践されています。



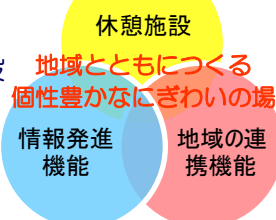
川内村からは農産物もたくさん！！ 地元食材のおそばが店出
このほか、郡山市や桑折町などからは、元気に地域づくりに取り組んでいる団体が登場！道の駅に集まったお客様に“地域の宝”を披露してくれました。



郡山市重要無形文化財指定「柳橋歌舞伎」の上演 桑折町からは「三元車」がお目見え

●「道の駅」とは？

- 地域振興施設
- 道路・地域情報施設
- 駐車場・トイレ・電話
- (24時間利用可能)



ところで...

●「6次産業とは？

農林水産業を基盤として、1次・2次・3次の各地域産業が、自らの強みを活かして他産業にも分野を拡大、または、互いに連携しながら新たな付加価値を生み出す取り組みです。



ポイントは掛け算にあり！

どれかがゼロになると全てゼロになってしまうのです。

●目を向けてみよう！

- ◆活動拠点
- ◆人としくみのネットワーク
- ◆絆 ◆人材

これらに注目してみると「6次産業」実践へのヒントが見えてくるかもしれません。



皆で ふくしまの6次産業を発展させよう！

ゆったりと歴史の流れる城下町

長野県長野市松代町

JR長野駅から南へ約8km、千曲川を渡り、長野盆地の外郭をかたちづくる山並みが大きく見えてきた場所に、長野市松代地区があります。

ここは、江戸時代、大阪夏の陣で散った真田幸村の兄、真田真之が入封して以来、信州の雄藩、松代藩10万石の城下町として幕末まで栄えました。



明治に入り、長野県の政治・行政の中心が善光寺周辺を中心とした長野市へ移ったことや、昭和41年に、合併により当時の松代町が長野市へ編入されたことなどにより、明治以降の時代の荒波にもまれることなく、街並みの改変をもたらす開発圧力が比較的穏やかであったため、ゆったりと流れる時間の中でまちの歴史が積み重ねられてきました。

このため現在でも、多くの武家屋敷や町割り、泉水路と呼ばれる各武家屋敷の庭へ水を引き入れる水路網が残されており、訪れた人は、往時の落ち着いた城下町の雰囲気にとひたることができます。

地区では、商工会議所や住民組織が中心の取り組みに市が連携し、歴史的街並みを核としたまちづくりが進められており、市民による文化活動やボランティアガイドも盛んで、市による街並みや道路の修景整備、松代城趾の修理・復元も行われ、年間50万人を越える観光客が訪れているとのことでした。



復元された松代城大鼓門



整備された泉水路



地区内の散策ルートの舗装は高質化されています。



街並み景観大賞受賞家屋
(まちづくり団体独自の景観形成にむけた取り組み)



地区内には武家屋敷の雰囲気を残した民家が数多く残されています。

松代地区は、同じ長野県内の、年間120万人に及ぶ観光客が訪れる小布施町と比較されますが、地域資源に光を当て、住民組織が中心となってまちづくりに取り組む姿は、相通じるものがあると感じました。

県営公園の紹介コーナー

今回は“桜”特集です。

福島県では、県内で6つの公園を管理・運営しています。

お弁当をもって家族でお花見などはいかがでしょう。



あづま総合運動公園

(福島市)

サイクルスポーツ広場付近から野球場までの桜並木や巨石広場の桜など見所満載の公園です。(見頃4月中旬～)

東ヶ丘公園

(南相馬市)

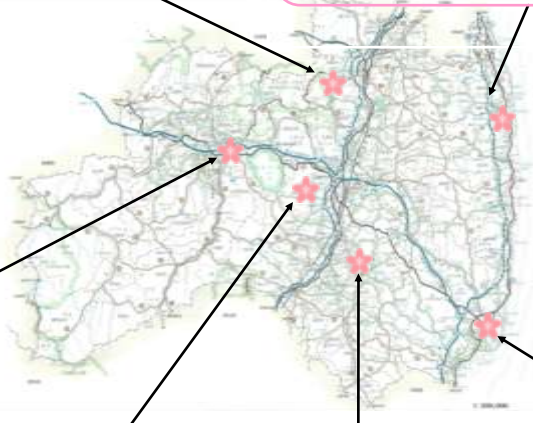
折ヶ沢ため池西側の斜面では、桜だけではなく桃の花なども楽しめます。(見頃4月上旬～)



会津レクリエーション公園

(会津若松市)

会津地方の伝説「足長・手長」をイメージした滑り台周辺で子供と一緒に花見を。(見頃5月上旬～)



いわき公園

(いわき市)

公園中央にある「森のわくわく橋」を頭上に見ながらの散策もおすすめ！(見頃4月上旬～)

福島空港公園

(須賀川市・玉川村)
空港東側にあるエアフロントエリアのサクラの広場を中心に散策でも！(見頃4月中旬～)



逢瀬公園

(郡山市)

園内全域では約2000本の桜が咲きます。(見頃4月中旬～)



※見頃の時期は天候により前後します。

県営都市公園のページ <http://www.pref.fukushima.jp/machi/kouen-joukyou.html>

メールマガジン登録受付中!!!

登録された方には、県内外のまちづくりに関する情報のほか、イベントなどのお役立ち情報をメールにてお知らせいたします。

メールマガジン(無料)の登録をご希望される方は



1. 団体・会社名
2. 氏名
3. メールアドレス

1～3を記入の上、まちづくり推進課のメールアドレス (machizukuri@pref.fukushima.jp) まで希望する旨ご連絡下さい。

「編集後記」

「まちづくり瓦版～うつくしま、まちづくり推進レポート～」(Vol.35)はいかがでしたでしょうか？

今後とも各地のまちづくりの取組事例の他、街路・公園等の事業紹介、イベント等の情報提供など、より充実した内容にしていきたいと思っております。

取り上げてほしい事例や写真、ご意見・ご感想などございましたら、遠慮なく是非お寄せ下さい！

【発行元】

福島県土木部まちづくり推進課

〒960-8670 (住所記載不要です)

TEL 024-521-7510

FAX 024-521-7956

e-mail machizukuri@pref.fukushima.jp

URL <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>

